

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/11>

参考値

(データ集約：11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月2日 8時33分 ~ 平成25年10月3日 16時02分		平成25年10月2日 8時37分 ~ 平成25年10月3日 16時06分		平成25年10月2日 8時39分 ~ 平成25年10月3日 16時08分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.OE-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<2/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月8日 ~ 平成25年10月9日 8時05分 ~ 16時45分		平成25年10月8日 ~ 平成25年10月9日 8時07分 ~ 16時43分		平成25年10月8日 ~ 平成25年10月9日 8時08分 ~ 16時40分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<3/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月10日 ~ 平成25年10月11日 8時09分 ~ 16時02分		平成25年10月10日 ~ 平成25年10月11日 8時10分 ~ 16時04分		平成25年10月10日 ~ 平成25年10月11日 8時08分 ~ 16時00分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<4/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月15日 ~ 平成25年10月16日 8時18分 ~ 8時36分		平成25年10月15日 ~ 平成25年10月16日 8時19分 ~ 8時44分		平成25年10月15日 ~ 平成25年10月16日 8時14分 ~ 8時32分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	6. 2E-08	0.00	7. 0E-08	0.00	1. 4E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○. ○E-○とは、○. ○× 10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<5/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月16日 ~ 平成25年10月17日 8時44分 ~ 8時25分		平成25年10月16日 ~ 平成25年10月17日 8時49分 ~ 8時21分		平成25年10月16日 ~ 平成25年10月17日 8時40分 ~ 8時17分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	4.9E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.0E-07	0.00	ND	-	8.9E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<6/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月17日 ~ 平成25年10月18日 8時27分 ~ 16時08分		平成25年10月17日 ~ 平成25年10月18日 8時23分 ~ 16時05分		平成25年10月17日 ~ 平成25年10月18日 8時20分 ~ 16時03分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	3. 2E-08	0.00	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1. 1E-07	0.00	7. 3E-08	0.00	9. 8E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○. ○E-○とは、○. ○ × 10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約5E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<7/11>

参考値

(データ集約：11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月25日 ~ 平成25年10月26日 8時28分 ~ 16時06分		平成25年10月25日 ~ 平成25年10月26日 8時35分 ~ 16時10分		平成25年10月25日 ~ 平成25年10月26日 8時27分 ~ 16時01分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³、Cs-137が約4E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<8/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月28日 ~ 平成25年10月29日 8時30分 ~ 8時40分		平成25年10月28日 ~ 平成25年10月29日 8時33分 ~ 8時45分		平成25年10月28日 ~ 平成25年10月29日 8時26分 ~ 8時36分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<9/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月29日 ~ 平成25年10月30日 8時42分 ~ 8時32分		平成25年10月29日 ~ 平成25年10月30日 8時49分 ~ 8時30分		平成25年10月29日 ~ 平成25年10月30日 8時39分 ~ 8時26分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<10/11>

参考値

(データ集約：11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月30日 ~ 平成25年10月31日 8時34分 ~ 7時49分		平成25年10月30日 ~ 平成25年10月31日 8時32分 ~ 7時52分		平成25年10月30日 ~ 平成25年10月31日 8時28分 ~ 7時46分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約6E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<11/11>

参考値

(データ集約 : 11/13)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年10月31日 ~ 平成25年11月1日 8時31分 ~ 16時04分		平成25年10月31日 ~ 平成25年11月1日 8時28分 ~ 16時07分		平成25年10月31日 ~ 平成25年11月1日 8時24分 ~ 16時02分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	3.5E-08	0.00	ND	-	4.3E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	8.1E-08	0.00	8.4E-08	0.00	7.6E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約3E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。